

## 2月の原料費調整額

原料費調整額は、-18.78円（税抜）です。

### 令和8年3月度検針分の原料費調整額 （基準原料価格との増減）

原料費調整額(円/m<sup>3</sup>・税抜)

$$= (89,900(\text{円/t}) - 98,950(\text{円/t})) \div 1,000 \div 0.482$$

$$= -18.78(\text{円/m}^3 \cdot \text{税抜})$$

### 燃料費調整額の算出について

従量料金への 適用	当月合成CP /前月MB(\$/t)	為替レート TTS(円/\$)	当月原料価格 (円/t)	基準原料価格 (円/t)	原料費調整額 税抜(円/m <sup>3</sup> )
令和7年2月	合成CP630 /前月MB469	157.54	106,500	98,950	15.66
令和7年3月	合成CP625 /前月MB480	153.02	103,020	98,950	8.44
令和7年4月	合成CP615 /前月MB454	150.25	99,110	98,950	0.33
令和7年5月	合成CP610 /前月MB444	145.49	95,000	98,950	-8.20
令和7年6月	合成CP600 /前月MB382	145.75	92,380	98,950	-13.63
令和7年7月	合成CP575 /前月MB390	145.54	91,720	98,950	-15.00
令和7年8月	合成CP520 /前月MB368	147.74	88,230	98,950	-22.24
令和7年9月	合成CP520 /前月MB347	148.71	84,940	98,950	-29.06
令和7年10月	合成CP507.5 /前月MB356	148.99	83,970	98,950	-31.08
令和7年11月	合成CP485 /前月MB332	152.30	81,800	98,950	-35.58
令和7年12月	合成CP485 /前月MB308	156.20	82,990	98,950	-33.11
令和8年1月	合成CP510 /前月MB336	156.95	87,300	98,950	-24.17
令和8年2月	合成CP535 /前月MB322	157.78	89,900	98,950	-18.78

### 液化石油ガス市況調査

（令和7年12月末現在）

12月単独集計/単位:円(税込)

ガス使用料	5m <sup>3</sup>	10m <sup>3</sup>	20m <sup>3</sup>	50m <sup>3</sup>
当社平均	5,082	8,041	13,650	29,192
三重平均	5,462	8,787	15,091	32,167
全国平均	5,680	9,213	15,940	34,553

(資料) 石油情報センターHPより  
(財) 日本エネルギー経済研究所

## 「原料費調整制度」の概要

弊社では「ガス料金の透明化」を目的として、すでに都市ガス会社、電力会社や一部のLPガス会社でも採用され、幅広くお客様に知られている「原料費調整制度」を平成27年3月度検針分より導入致します。

### ①原料費調整制度とは

毎月値動きを伴うLPガス輸入価格(合成CP価格)と為替レート(TTS)の変動を「速やかにガス料金に反映させるしくみ」です。

### ②原料費調整額を算出する仕組み

弊社の原料費調整額は、以下の算式に基づいて算出しております。

$$\text{原料費調整額 (円 / m}^3\text{・税抜)} = (\text{原料価格} - \text{基準原料価格}) \div 1,000 \div 0.482$$

◎原料価格(円/t): 当月合成CP×為替レート(TTS)

◎基準原料価格(円/t): 令和6年11月の原料価格98.950円

$$\text{原料費調整制度を導入した平成27年1月のCP価格} \$425/\text{t} \quad \text{為替レート(TTS)} \text{¥}119.78/\text{\$}$$

◎0.482: 重量単位(kg)から体積単位(m<sup>3</sup>)に変換するための産気率

◎LPガス輸出価格(CP、\$/t): 中東LPガス指標価格(コントラクトプライス: CP価格)

◎LPガス輸出価格(MB、\$/t): 米国LPガス指標価格(モンテルビュー価格: MB価格)

◎為替レート(TTS、円/\$): CP採用月の前月21日～当月20日の対顧客電信売相場の平均値

### ③原料価格

$$\text{原料価格} = \{\text{合成CP} \times 70\% + (\text{前月MB} + \text{調達経費}) \times 30\% \} \times \text{TTS} + \text{フレート価格}$$

◎合成CP: 前月と当月のCPの平均値

◎調達経費: 米国から輸出するための費用

◎フレート: タンカーでの輸送費用

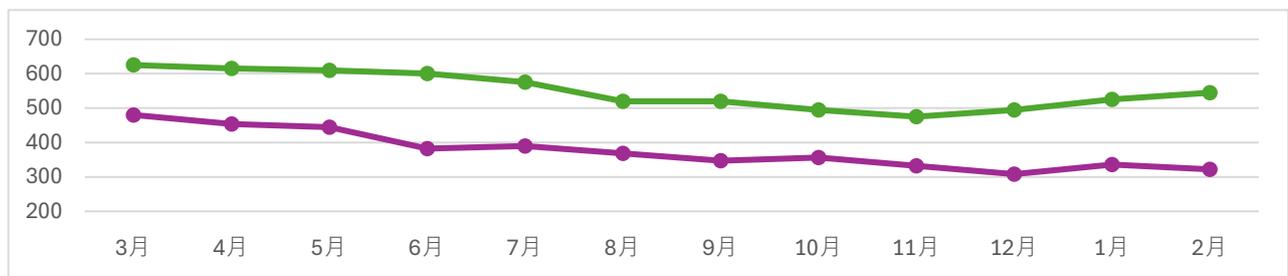
### ④調整頻度および調整単価

調整は毎月行い、調整額が小数点第二位以下の場合は切捨てし、請求時の1円以下は四捨五入となります。

原料費調整額算出データ

R7 3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R8 1月	2月
625 CP(\$/t)	615	610	600	575	520	520	495	475	495	525	545
480 MB(\$/t)	454	444	382	390	368	347	356	332	308	336	322
153.02 TTS(円/\$)	150.25	145.49	145.75	145.54	147.74	148.71	148.99	152.3	156.20	156.95	157.78

合成CP ● MB ● (\$/t)



TTS(円/\$)

